(二十六日夕刊)

休刊 大祭日 第一 第三日曜

定價 一ケ月 一部 二錢 郵税 六十錢 十五錢

廣告料 壹行六十錢 指定廿錢 增

福島縣平町田町十六番地 發行兼編輯印刷人 蓮沼龍輔

發行所 磐城新聞社 電話五六四番

磐城の俗信と傳說 抄

鮫川漁史郎

弁才天の智さん

むかし常陸會瀬（助川海岸の小部落）に若人が毎日その仕事をすまし暮方になると、その川べりに來ては横笛を吹くのを一つの娯しみとしてゐた、よく夕暮頃には毎日のやうに、若人が横笛を吹いたものであつたその笛の音が川に傳はり一とし川にひゞいてほゝぼれとした、さすがの龍女もしげ〳〵毎日毎日沼の内からして、會瀬の若人の横笛に聽きほれたものであつたやがていつしかに横笛を吹いた若人の姿が會瀬から消えた。

處が不思議にも若人の兩親の夢しらせに、毎日夕暮に川べりで吹いた若人の横笛の音色にほれて沼の内の龍女にみこまれ、とうまきこまれたといふ夢をみたものである。その會瀬の若人の兩親が遙々岩城沼之内迄たどりついては、辨才天のみ堂にぬかづき、もとに若人をかへせ　と

ないたものであつた。

ふと沼の水がうづをまいて水面に若人の姿をあらはし、私は笛の音色にほれられて、この辨天の龍女のむことなり、何もそうなけくには當るまい、私は此處のかみになつたので、ゆめ疑ふべきにあらじと、再び水面のうづと共に若人の姿は

とはに消えたといふことで會瀬邊にも此の話が言傳へられてゐるといふ。

千人須賀（塚）

千人塚は、大浦村仁井田浦にあり、年暦不詳なるも傳ふる處によれば、平常の干潮と變り、永く續きには族が非常に群り狼狽しあるを見るや、其目も眦み我劣となり、岸に打ち寄せられ千人の蒼生が哀れ死體となり、この靈を葬ひしを稱して千人塚と云ひしものな

觀菊　不染生

菊薫る御苑に君を拜しけり
菊の宴君萬歳を壽けり
老臣の顔晴れやかに菊の杯
公達の三々五々と菊の晴
高殿に輝く燭や花の宴

りと、亦呼んで千人須賀と云ひ、今も尚白砂堆高くも繁茂しある處なり、又此附近一帶は牧野家の練兵場なりしと。

湯岳さ二人行

抑當嶽の創基濫觴を尋ぬるに、古昔、德溢大師、回國振錫の時に當りて、大同元年、當嶽の麓を過り、層巒茂樹、溪河の勝地を顧膽踏躇して其名を樵夫に問ふ是、岩城無双の名嶽なりと此に於て、攀躋、登臨せられしに、一草庵あり、菴主

網曳き音頭

北見晴雪

石城七濱
秋刀魚が漁れる
網が上がれば
銀の太刀
ヤッコラサノ
コラサノサ
黒鐵こぶしの
この腕ぶしで
曳けよ曳け曳け
秋刀魚網
ヤッコラサノ
コラサノサ！
漁れた漁れたよ
秋刀魚が漁れた
躍る銀鱗
網の中
ヤッコラサノ
コラサノサ

乃迎謁す、其名を祐祖といふ、大師云、吾は是、德一なり、關東に下り、往々靈蹤を尋ね、一佛一軀を奉安せんと欲するの宿願なり、誠に幸なるかな、當山は所謂勝絶の靈峰なり、願くば吾が爲に教導し給へと、菴主辭する色なく、先歩延行して高巨に登る、時に極目回觀せしに、五雲靉靆として上天を覆ひ、森林翁鬱として白日を藏す、自ら八葉の〻は軸の谷を備ふ、實に天造自然の區域、薩陸、常住、結緣、無量の靈場なり

拈華微笑

◇

揉み手て『イヒヒ』位の作り追從では退かぬ間屋筋の居催促

◇

『悲慘』のサンプルに持ち歸つた藤原を殿樣連は何と見るやら

◇

震動三十一分なんて餘の長講一席などはチト感服し兼ねる

◇

『悲慘』のサンプルに持ち歸つた藤原を殿樣連は何と見るやら

◇

酒……△

外減らない

◇

七五三を張つて仲の良い住民達が手打ちの祝ひごみ。不景氣の平乍ら之丈は案外減らない

◇

で……『御目物の衆果し合話しをして往く樣子だが、

相手は斯くの通り討果した、勝閧を上げるに依つて御見物御一同に於てもお聲をお上げ下さるやう』サッと扇を開いて村上兄弟をあ

ふぎ立てた——『何を吐かしやアがる、卑怯な眞似をしやがつて勝閧も聞いての呆れらア』——『聲を合はせてくれと吐かしやあがつた、聲の代りに石を合はせるとは何うするのだ』

『分らねえちやアねへか、石を投つて野郎共に叩き付けるのだ、石が飛んで行つて野郎の面に當る、ソレ石を面に當てるのだ』……

『へエ濟みました御覽なさいあの通り人がむらがつて來ます』……『扨ては遲刻の間に合はなかつたか』——『お前さんは係り合ひの方かね』……『年六十四五歳の老人が出た筈其の老人は敵を刺止めたかどうだ』——『お爺いさんが敵に刺止められて終つたので、何だつて相手は三十人も掛つて來たのですから』……『えッ夫れは本當か』——『本當とも何んとも誠にみられたものではありません、南手の奴等は退散したか、ま

講談　赤鞘安兵衛

東京　桃川燕二演
村田月光畫

（一一一）

——『しめたぞ各々此奴をなますにして怨みを晴らす』倒れた六郎右衛門を起しも立てず、直に付け入つて族が非常に群り狼狽しあるを見るや、其目も眦み我劣となり、岸に打ち寄せられ千人の蒼生が哀れ死體となり、この靈を葬ひしを稱して千人塚と云ひしものな

『御目物の衆果し合話しをして往く樣子だが、

相手は斯くの通り討果した、勝閧を上げるに依つて御見物御一同に於てもお聲をお上げ下さるやう』サッと扇を開いて村上兄弟をあ

ふぎ立てた——『何を吐かしやアがる、卑怯な眞似をしやがつて勝閧も聞いての呆れらア』——『聲を合はせてくれと吐かしやあがつた、聲の代りに石を合はせるとは何うするのだ』

『分らねえちやアねへか、石を投つて野郎共に叩き付けるのだ、石が飛んで行つて野郎の面に當る、ソレ石を面に當てるのだ』……

『成程面白い、やれ！、』

烏合の勢だから堪まりませぬ石を投つてバラ〳〵〳〵雨の降る如く投げ付ける、ワアワッと聲を上げて見物!!』……『居るか、よし』其の男をポンと掻き退けた力に掻き退けられてドタリ尾餅——『ア痛ッ人殺しッ』起き上つて見ると安兵衛の妻娘も、見物が石を投げる樣になつては危なくて仕樣がない……『まことに殘念なことをしたが仕方が衛は二十間も先へ飛んで行く、安兵衛の樣子の爲ならぬに驚いて、ゾロ〳〵戻つて來た連中も再び馬場の方へ足が向く——『なんだい

だ馬場に居るか』——『えゝ居ますよ、老人に殺された奴もありますから其の片付けでもして行くのでせう』……『居るか、よし』

『成程面白い、やれ！、』

烏合の勢だから堪まりませぬ石を投つてバラ〳〵〳〵雨の降る如く投げ付ける、ワアワッと聲を上げて見物!!』……『居るか、よし』其の男をポンと掻き退けた力に掻き退けられてドタリ尾餅——『ア痛ッ人殺しッ』起き上つて見ると安兵衛の妻娘も、見物が石を投げる樣になつては危なくて仕樣がない……『まことに殘念なことをしたが仕方が衛は二十間も先へ飛んで行く、安兵衛の樣子の爲ならぬに驚いて、ゾロ〳〵戻つて來た連中も再び馬場の方へ足が向く——『なんだい

年を取つた方が氣の毒でなりませぬ、今夜は快く眠ることは出來ますまい』……『さうとも〳〵サア戻りませう』見物も追々崩れ立つ其中に交つて堀部親子も立戻る、途々は果合の噂で一杯、かゝるところへ中山安兵衛武庸、一散走りに走ア果し合に係りのある奴つて來たが忽ち高田の馬場だ』……『相手の奴等は退散したか、居るかよしッの噂を耳にし——『是れ〳〵通行人の御人』……『今聞とと云ふからには爺いさん付けば高田の馬場の果し合のきものだらう』

ラヂオ番組

廿七日（土曜）

東京　JOAK

△午前七時ラヂオ體操、九時氣象通報　△九時十分日用品値段、料理献立（里芋海苔あんかけ）宇多繁野發表　△十時三十分國際講座（國際聯盟第十一回總會に出席して）青木節一　△正午時報　△午後〇時五分管絃樂とトロンボーン獨奏　一、喜歌劇　女公殿下　拔萃　二、トロンボーン獨奏（イ）インビの歌（ロ）絶叫するライザ、トロンボーン　三、アメリカンド人の結婚祝典　△二時四十分ニュース　△二時婦人講座（自治と婦人）第三、自治の職分と其の機能、東京市政調査會理事長池田宏　三時四十分氣象通報　△四時ニュース、放送局編輯　四時四十五分職業紹介事項

△六時（子供の時間）童話（鶴屋南北）渥美清太郎　俚謡（熊本より中繼）一、肥後俚謡（ロ）大鞘節（ハ）田原節（ハ）肥後節（ニ）東雲節（ホ）濱節　二、博多俚謡（イ）博多節（ロ）博多子守唄　一、中節　小さな、半兵衛唐崎心中　ラヂオドラマ、（源水の月）石川龍三作、場景（夢草の源水の家）、九時四十分時報、ニュース、氣象通報、放送局編輯

仙臺JOHK

△午前九時十分料理献立包みキャーデ、ワサビあん、高橋せい子發表　日用品値段　△午後〇時四十分ニュース、氣象通報、告知事項　△五時四十五分今晩の番組豫告　△七時ニュース、氣象通報、番組豫告、告知事項　△七時二十五分講演、輸血の話醫學博士一晃赳夫　△九時四十分番組豫告、告知事項

時計販賣修繕大勉强

親切第一　瀬谷時計店　四倉本町

芳醇無比
雪の馬
松本德一吟釀
平電話二八五

そばからの枕は頭の爲には一番良いと申されて居ります
そばから一外三錢　そばこ百匁八錢　そば一把六錢
平町十橋　福麥マルマン商店　電話四八ヨヤク番

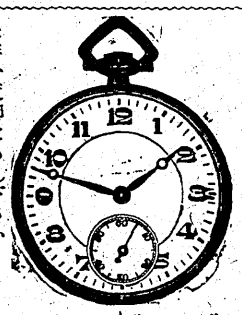
廣告

平町紺屋町　藤沼醫院　電話五〇七番

平町田町本通り　市原醫院　電話二一四番

耳鼻咽喉科專門
日本醫大院長醫學士　鈴木正男
齒科口腔外科
日本齒科科長醫學士　鈴木喜政
◎晝夜診療（日曜祭日午後休診）
下谷區入谷町二九一
入谷改正通り東交番前
鈴木醫院

時計の御用命は
山崎時計專門店に
平町五丁目新川町通り（吉田屋染物店向）
◎修理部特長
御仕事は親切に
御日取は正確に
御値段は安く
是非一度御ためし下さい



世界大作を握掌する　五百萬弗大映畫
提供社ルナヨシナトスーアフ
特作超スーザラブナーワ

大喜劇　大盜賊

名作の持つ物語價値的表現を有する映畫…に正致極の現代術變…巨篇

猛獸實寫　ポーリ

獨逸ゲリーンバウム映畫
原作ルウドウイッヒ、ウオールの長篇小說、監督ジエンナロリグルリ氏
曖い南の太陽を浴びてゐる平和な國スタネエヴアに起きた心良い物語りであります。

獨逸ウーフア會社、冒險隊決死の撮影
案内者　キルヘルムド、ベーア氏
開拓者　ゲスター、ノードハウス氏
ザンバを遙に凌駕せるを保證しアフリカ三千哩に亘る未開の天地に見る恐ろしき猛獸の爭鬪を…決死撮映せる本映畫を公開す。

特別興行
30日　29日　28日
晝夜興行
特等五〇　壹等四〇　普通二〇　入場料
平館（六四）

專門內科一般
內科何デモ診療ハ致シマス
呼吸器病バカリデハアリマセン
平町南町六五
川井內科診療所
電話一八一番
醫學士女醫　川井重之　川井安子

專門眼科醫師擔任
無料檢眼券
無料檢眼
御用命下さい

時計ノ部　萬點ノ味確正アリ信用
鏡眼ノ位本樣御客
平壹　常盤屋時計店　電三三九

御問屋の居催促に
地方商人の狼狽
續々東京から入り込んでは
仕入れの調達金を持ち去る

先月下旬から今月へかけてくに昨年よりみれば平均約三割方の安値を見てゐるく東京方面の御問屋側より地方にいり込む集金がてらのせに商品の動きは話しにな商人は實に著しいもので本ちぬ不振さでいづれも大こ年もまたその例にもれず近ぼしの態だが新品を看板と時繊々來町し切迫した平町する四五の大店を除く外一の財界に一層の窮狀を與へ般の商店では金融びつ迫よてゐるがこれがため毎年々り出來得るだけ新品の購入々秋から冬にかけその方面を見合せ去年の繰越品の利に持ち出される現金は莫大用で間に合せる狀態でこと なものでは目下の各商店は仕に贅澤品などに至つては驚込やら集金員の居催促にへくべき減少振りをポし只僅ラ辛い目に遭つてゐる所謂かにボーナスでも振りまか受難時代と云ふわけである れたあとには多少の景氣が而も例年よりは幾分暖いと出るかも知れぬと云ふ樣ないつた處で霜月もはや終り極めてはかない望みをつな近く各家庭では越年準備にがれてゐるに過ぎない樣で忙はしいが町内呉服洋物店あるにつき冬物の賣行狀態をきく昨年よりみれば平均約三割方の安値を見てゐるく後數回にわり同村小田炭礦第二新斜坑夫豊食辨當を取平署に檢擧さる

女子師範 教生
石城見學日程

本縣女子師範學校の第二期教生參觀旅行は岩家高原兩訓練引率の下に來月一日から行はるるが日程中石城郡關係の分次の如くである

一日平町を經て小名濱泊
二日小名濱尋常高等小學校、第一校時……共同參觀(理科)第二校時……共同參觀(裁縫)第三校時……自由參觀、第四校時……共同參觀(体操)中食、第五校時……學校長のお話四倉泊　三日草野尋常高等小學校、第一校時……自由參觀、第二校時……共同參觀(算術)第三校時……共同參觀(讀方)第四校時……自由參觀(中食)第五校時……學校長のお話浪江へ

中央に持ち出される
藤原附近の慘狀
踏査の四視察員
歸京後委曲報告す

貴族院研究會所屬の岩城、土岐、米倉、梅園各子爵は羹に東北地方の視察として三井廢山後に於ける磐崎村藤原及湯本附近の精査を遂げ且つ地方有志の說明を聞取する處あつたが研究會では二十四日午後三時より事務所に政務審査部各部長理事の聯合會を開き先づ前記視察員の報告を聽取したが財界問題に主力をそゝぐ研究會としては右報告內容を重視し來月一日の研究會總會の席上に改めて詳細なる視察報告をなさしむる事となつたと

水路復活陳情
川關係者出福

小名濱町飯塚榮一郎氏外五名の鮪川堰水利合委員及上遠野、渡邊泉、玉川、小名濱植田の各町村長は水路復活の件を縣會に陳情の爲來月二日午前十一時十八分平發列車にて出福三日政民兩派の支部を訪問陳情の筈で

玉川一、二三一、三四
磐崎五、五六三、〇一
湯本七、六六五、〇〇
內郷一二、四〇七、一三
好間五、五一一、六一
赤井四、一一一、一九
永戸一、五六八、一四
笠輪七五一、四六
澤渡一、〇二二、八七
三阪一、六三三、二三
神谷一、九六五、二三
草野二、五二一、六八
大浦二、二六八、八五
四倉三、五一四、一八
大野一、九〇六、五七
平窪一、五五〇、二〇
上下小川組二、〇八九、四四
川前一、五七四、一六

泥棒の上前を
はねた男捕はる

好間村上好町浪之助弟川村義雄(三)は廿四日午後二時頃同村駐在巡査に擧動不審のかどで拘引嚴重取調の結得したる旨自白しだと

一日十七八俵採れる
塵芥の燃燒肥料
年額二千圓近に上る
廢物利用の收益

平町塵埃捨場の金成管理人のゴミ統計は大体こんな事になつてゐる、町役場では平町に於ける塵埃の狀況を聞くに現在同家では豚の飼料とするものや紙屋が之の能率を以つてしても平全町を一周するには優に一週間を要し一と月には八百三千七百貫の多數に上る勘定である燃燒の上農作物肥料として一俵三十錢で販賣してゐるが賣行き良好である、而して町內で最も多くの塵埃を出すのは何と云つても本町通りを第一とし て田町の料理屋が之れに次ぎの順序である比較的不便な場所は往々運搬の敏活を欠く場合もあるが平町現在のゴミ統計は大体こんな事になつてゐる、町役場では之れに對し一ヶ年六千四百七十錢之れに燃燒不良物で百貫の分量を取集めてゐる屑屋問屋に販賣する分をふ一週間を要し一と月には八百三千七百貫の多數に上る勘定である燃燒の上農作物肥料として一俵三十錢で販賣してゐるが賣行き良好である、而して町內で最も多商賣ではないがその收益に至つては驚くべきものがある、尚七十圓を逆轉し合計二千七百貫の分量を取集めてゐる屑屋問屋に販賣する分をふが之の能率を以つてしても平全町を一周するには優にくみ收益一萬圓には達すべく一週間を要し一と月には八百三千七百貫の多數に上る千圓人夫運轉手一日一圓五勘定である燃燒の上農作物十錢と見て二人分一千九百肥料として一俵三十錢で販賣してゐるが賣行き良好で五圓の賣收となる餘り美的商賣ではないがその收益に至つては驚くべきものがあ

平警察署さんへ
投槍寄書歡迎

平警察署長荒井さんはその應待振りからして高振らす民衆の爲には本當に膝をみやすい方です、一時大馬力をかけた民衆警察から見たら最もその意に適つた署長さんだと考へられる、これは先づ初對面の感想だが大根は第一印象が肝腎で一出來ます

◇

警察官は昔から民衆とつくり行かない、誰も殆んど罪人扱であるの來の使命たる人民保護なて罪は少しも心にない、威張りたがる連中が多かつ民に便宜を與へるの、とは心外であるこの男は人なつて引退る、而もその自轉車に乘つて科料金二圓也

◇

署長さん何と感じられます、私の知つたものは、斯くて三度も無駄足をしました、三里も四里もの遠い處です係が不在の時は代理者萬一出來なかつたなら豫め係りが居る日時を公告して置いたらどうです、緊縮や節約をいくら叫んでも警察始め半日がかりの處を三度も四度も暇潰しをさせられ尙且つ事を便じぬに至つて は何と馬鹿〳〵しい骨頂ではありませんか。(賣見生)

勿來の婦女凌辱事件
傍聽禁止で審理
今日平支部の公判

去る十月一日石城郡勿來町大字四澤地內田甫で草刈り中の同町蛭田ちよ(二六)に暴行を加へた埼玉縣秩父郡大滝村生れ當時住所不定無職山中岩次郎(二六)に關する事件は平支部中谷豫審判事により取り調べ中の處去る十九日豫審終結決定その第一回公判は今二十六日午前十一時半より中島裁判長係關口、山本兩判事陪席武田檢事關興增田辯護士立會の上開廷傍聽禁止の上審理を進められた

養蠶代議員
來月十日改選す

合では來月十日郡內各町村駐在代議員の改選を各町村別に執行する由である

郡下町村交附額
合計一万六余千圓

市町村義務教育費國庫負擔法第三條後段に依る本縣町村交付金は七十一萬九千五百二十八圓九錢で前年に比し八萬三千九十圓三十三錢の增額を示した、即ち教員一人當り六十九圓卅十二錢六厘一六四、兒童一人當り一圓七十九錢四厘〇九六五で石城郡內各町村割當額は總額十一萬六千三百四十一圓十一錢で二十五日縣から夫々通知あつた

二、一八七、三〇
渡邊一、一八五、四九
植田二、七四七、七三
泉二、一七五三、四四
錦一、七五三、四四
勿來二、〇一七、六七
上遠野二、五五五、七七
入遠野二、二七〇、六四
川部二、〇六〇、七三
田人、荷路夫、貝泊石住組合一、五三四、八八
平一、〇四〇、九九
飯野一、六七三、三四
夏井一、三二一、八四
高久一、二三九、九六
豊間一、九〇七、〇九
江名二、五八一、〇四
鹿島一、一三七、〇五
小名濱四、三一八、八一

義務教育費國庫負擔金

今後の親睦を圖り
鎌田平和會生る
雨降つて地固まり
關係住民歡ぶ

水防築堤請願問題に端を發し平町鎌田町區長仲野伊重氏對一部區民間の紛糾は屬報の如く町內の親和輯睦上今後の成り行きを懸念されてゐたが遠藤助役の調停に入り生産額も增加し

水利組合
反別賦課
平町の追加額

愛谷堰水利組合反別賦課額は一反當り五十錢として去る十九日關係者が合合一切の感情を水に流して以前の平和に還つたので翌廿日關係者一同同町熊野神社に參集一件書類を燒捨て草野氏は町議宅にて關係者一同を招待手打會を宴したが荷明廿七日午後一時より中野區長も一同を金成氏宅に招待し將來の結束を固む る團体として平會を創設する事となつた

今年度工事として豫算に編入愈々去る十五日盛大なる起工式を行ひ、手したこの結果賦課額の追加を平町役場で發表する事となつたが溯及反別所有者二百九名で一反當り一圓五十錢の制限外一圓を追加し此金額一千円八十一圓二十九錢で一人當り五圓八十二錢の追加となる譯であると

鐵管委員會

平水道鐵管委員會は今二十六日午前十時から平町役場で開催した

木炭檢査員任命

濱三郡木炭同業組合では現在七名の檢査官が各町村に駐在檢査の任に當つてゐるが檢査の任に當つてゐるが良人の意に背いた彼女のヤマシイ事のない彼女の

人事

平町三丁目一仙臺市士橋
通十二電車車掌齋藤俊三
郎二男俊次　死亡
平町三丁丁二九小野美勢
子(二)
平町立町九五竹田儀平(七三)

赤井風

◇惡戯好き
なお客達の餘りに念の入つた冗談から或るカフェーの若いお客達、これかみが壽命を縮めたといふト ダ悲劇を聽いたヤハリ弱き者は女であつたへ愛すればこそ起るヤキモチ喧嘩を面白がつて、態と無理や商賣の爲めと涙を呑んで も商賣の爲めと涙を呑んで

泥棒の上前を

はねた男捕はる

一日十七八俵採れる

塵芥の燃燒肥料

年額二千圓近に上る

廢物利用の收益

勿來の婦女凌辱事件

傍聽禁止で審理

今日平支部の公判

養蠶代議員

來月十日改選す

郡下町村交附額

合計一万六余千圓

今後の親睦を圖り

鎌田平和會生る

雨降つて地固まり

關係住民歡ぶ

夜診
内科　十二指腸虫病
専門部
内科部
外科部
淋病　婦人病　皮膚病
(平南町電話一七番)
療

毛糸
編物夜間御教へ致シマス
國産優等毛糸　一オンス　十錢
國産中細毛糸　一オンス　一錢
國産極細毛糸　一オンス　一錢
國産霜糸降毛　一オンス　十八錢
一封度(十六オンス)以上ハ御値デ差上マス
編物器具類ナラドンナ品デモハシモトヤデ御間ニ合セ致シマス
平町田町　ハシモトヤ糸店

一圓十錢のフランス
マルソー會社元詰
マルソー、ブランク
マルソー、ルージュ　葡萄酒
優良にして安價賣行き飛ぶが如し
平二　西村屋藥店　おはなし三番

新マツダ斯瓦入
電球三割値下
十五ワット　三十錢
二十五ワット　三十錢
四十ワット　三十五錢
六十ワット　六十五錢
百ワット　六十五錢
一個デモ御電話ガアレバ早速御屆ケイタシマス
是非御用命ヲ願マス
特約店　大谷時計病院
電球部
電話十九番

内臓外科
外科一般
花柳病科
入院隨意　自炊ハ便あり
平町田町赤心堂病院跡
安齋外科醫院
電話四三六番